

令和7年4月25日(金) 令和7年度 第2号



さいたま市立泰平中学校

学校だより

さいたま市北区本郷1991 電話：048(651)4134

【教育目標】

豊かな心を持ち実践力のある生徒の育成

【目指す学校像】

季節の花と明るい挨拶にあふれ、
生徒一人一人に夢と生きる力を培う学校
— 大好きTAIHEI —



「仲間」

校長 宮内 和典

風薫る五月、新緑の香りを運ぶ爽やかな季節の到来とともに、新年度になってからひと月が経とうとしています。生徒たちも新しいクラスや先生、様々な環境の変化にも少しずつ慣れ、新学年での活動も軌道に乗り始めてきました。進級したこの時期は、生徒たちが少し背伸びをしながら、成長していくにはよいチャンスではないかと思えます。それぞれの立場や状況の中で必要とされる自分の役割があることや、張り切っている今の気持ちや意欲、こだわりなどを大切にして、少し難しいことや初めて経験することに対してもチャレンジしながら、これまでとは違う「新しい自分づくり」に向き合って欲しいと思えます。

さて、「集団づくり」「仲間づくり」が主なこの時期、生徒達は、学級や学年、部活動などで多様な人とのかかわり方を学ぶこととなり、集団による活動を通して、「それぞれの違いを受け止めてお互いのよさや強みを認め合うこと」、「助け合うことの大切さや感謝の気持ちをもつこと」、「約束を守ったりマナーを身に付けたりしながら協力すること」で学校生活を創り上げていきます。しかし、人とかかわるときに、自分の感情に任せて行動したり言葉を発していると、けんかにまでは発展せずとも、相手も自分も気まずい雰囲気になったり、誤解されてしまうこともあります。もしかしたら、今までの関係で得た信用を失ってしまうこともあります。どんな時もとえ仲の良い人に対しても相手の気持ちに立って考えることが大切です。

「人は出会いにより知人となり、人はつきあいによって友人となる。そして、人は助け合うことによって仲間となる」という言葉があります。この時期の、新しい人とのかかわりが、「知人」から「友人」となるひとつの契機となればと願っています。もちろん人とのかかわりにおいては、楽しいことばかりではないと思えます。困ったことやうまくいかないこと、苦しいこともあるかもしれません。しかし、そんなとき、お互いに助け合い励まし合うことができれば、「仲間」になれたと実感できるのではないかとも思えます。知人から友人へ、そして固い絆の仲間へと繋がりを確かなものに変えていきましょう。言葉で言うことは容易ですが、日々の学びや学校生活の中で、お互いのことを考えながら自然に助け合う姿が見られる「仲間」になれるように、相手の気持ちを考えて行動するようにして見てください。6月の体育祭を楽しみにしています。



保護者の方へ

この時期は連休があり、不規則な生活になりがちです。肉体的にも精神的にも疲れがたまり始めている頃ですので、これまで以上に御家庭と学校との連携を密にしながら教育活動を進めて参りたいと存じます。また、御家庭での団欒のひとつときは、子どもたちにとってもかけがえない時間でもあります。保護者の皆様には、お子様とともに楽しい時間を過ごしていただき、子どもたちが連休明けからも自信と意欲をもって臨めるよう気持ちのリフレッシュをお願いいたします。

もし、お子様が登校を渋るようことがありましたら、お子様の話を共感しつつよく聞いていただき、一緒に登校に向けて準備するなど安心感を与える御支援をお願いします。また、学校へも御相談ください。

